



マリンホーム地域包括支援センター マリンホーム介護支援センター

当事業所は、平成24年1月より岩沼市玉浦地区に事務所を移転し、以前と同様に業務を行っております。新事務所は玉浦中学校にほど近い県道に面しており、より地域との密接な活動の拠点となっております。

皆様には、移転に伴い大変ご不便おかけしましたが、おかげさまで職員一同、元気に頑張っております。今後も、さらに質の高い介護支援を目指し、励んでまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

- 介護保険の申請をしたいがわからない
- 介護している家族のことで相談にのってほしい
- 介護保険サービスを利用したい
- 要介護認定を受けたがどこに相談したら良いかわからない… などなど

このような時ご利用ください



その他、介護のことでお困りごとがあれば、まずはお問い合わせください。

〒989-2423 岩沼市押分字新田東137-1

新住所・お問合せ先

マリンホーム介護支援センター

マリンホーム地域包括支援センター

TEL:0223-22-2232 FAX:0223-22-1271 TEL:0223-25-6656 FAX:0223-22-1271

求人募集について…

平成25年度より求人を行う予定となっております。

建物の復興に伴い、平成25年度より大規模な求人を行う予定となっております。被災した事業所をはじめ、新規の事業となります地域密着型特別養護老人ホームと多岐にわたる人員募集となる見込みです。詳細が決まり次第ホームページ等を通じて公募を行いますのでよろしくご依頼致します。

ホームページが新しくなりました

ホームページ <http://www.akaikoh.or.jp/>

～ 復興への歩み・現在の状況等お伝えしていければと思います～

このたび「社会福祉法人ライフケア赤井江」のホームページをリニューアルいたしました。東日本大震災における当法人の被害状況を始め、現状、復興に向けた取り組みについても掲載させて頂く予定であります。

分かりやすく確かな情報発信をこそが、皆さまのお役に立つウェブサイトをめざします。今後とも「社会福祉法人ライフケア赤井江」のホームページをどうぞよろしくお願い致します。



寄付・寄贈について…

全国から温かい気持ちを、たくさん頂きました。

東日本大震災以降、全国の皆様から度々重なるご支援・ご協力を賜りありがとうございます。多くの皆様より頂戴致しました詳細につきましては、ホームページを通じ公表させて頂きたいと思っておりますので、この場におかれましては、ご支援を頂きました皆様への御礼ということで代えさせて頂きます。 **本当にありがとうございました。**

編集後記

現在当施設では着実に再建へ向けて動いております。ここまでの再建までの流れ等、皆様に伝わればと思います。これからも機関誌、ホームページ等にて随時最新の情報を更新できればと考えております。

編集委員 / 小助川 進・鈴木 信宏・吉田 伸一・三浦 哲子・岡崎さとみ・小野 妙子・守 さやか・大村 雄一・矢口 晃也・齋藤 綾香・我妻 信幸

特別養護老人ホーム 赤井江マリンホーム

〒989-2421 宮城県岩沼市字山桜164番地
● デイサービスセンター くろまつ荘 ● デイサービスセンター ほほえみ荘
● マリンホーム介護支援センター ● マリンホーム地域包括支援センター
Tel: (0223) 25-5160・Fax: (0223) 25-5620

REIMEI



no.111

黎

明



施設完成イメージ図

再建に向けて



特別養護老人ホーム
赤井江マリンホーム
園長
小助川 進

あの未曾有の大震災から早いもので、2年を迎えようとしています。現在も利用者の皆さんは、同一法人のグループホーム2カ所に分散して、生活しています。手狭で大変だとは思いますが、もう少しの間、辛抱をお願いしたいと思っております。昨年、8月1日、待ちに待った国の災害査定を受けることができました。事前に書類が整備されていたこともあり、比較的、スムーズに審査を終えることが出来ました。全壊した施設で、複合施設の復旧・復興は、前例がないため、困難が予想されましたが、厳しさの中にも心のこもった査定を頂きました。ただただ感謝の一言です。やっと大きく一歩前進をした思いでありました。既に入札を経て、地鎮祭並びに安全祈願祭も終え、昨年12月、工事に着手いたしました。遅くとも今年、12月には4階建ての真新しい建物が、被災地から3km程、内陸部の岩沼市三軒茶屋西土地区画整理組合の一角に再建されます。全国の皆さんから沢山のご支援を頂きました。一日も早い再建をご報告させて頂きたいと思っております。今後とも皆様の温かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2011 平成23年

- 3月** 東日本大震災発生。仙台空港ビルに全員避難。翌日市内の施設、病院の協力を経て2次避難。(4か所に分散) 職員等の安否確認。施設の被害状況確認。岩沼市・宮城県へ被害報告および支援物資の要請。宮城県及び宮城県老協と今後の利用者の受入について調整。岩沼市長への再建意思の表明。
- 4月** 特養避難先施設として社会福祉法人常盤福祉会と施設使用に関する覚書を締結。特養利用者3次避難。(第二常盤園・グループホーム2か所の計3か所に分散) デイサービス再建予定候補施設の視察。宮城県・岩沼市の紹介により特養の代替え施設視察。ボランティアの協力により被災地で書類の回収。
- 5月** 岩沼市長へ福祉仮設の設置についてお願い。医療法人将道会総合南東北病院と協力病院の契約締結。特養の代替え施設および再建予定候補地の視察。債務整理における協議。
- 6月** 特養の代替え施設および再建予定候補地の視察。赤井江マリンホーム等の財産処分を申請。福祉医療機構の復旧資金貸付相談会参加。被災した補助事業に関する対応を協議。
- 7月** 岩沼市へ損壊家屋等の解体及び撤去を申請。
- 8月** 特養の代替え施設および再建予定候補地の視察。復旧補助金に対し宮城県と協議。社会福祉法人ライフケア赤井江復興計画立案。
- 9月** 再建予定先岩沼市三軒茶屋西土地地区画整理組合と協議。
- 10月** 債務整理完了。
- 11月** 宮城県へ復興災害補助協議書の提出。
- 12月** 宮城県へ復旧・復興相談。地域包括支援センター及び介護支援センター仮設事務所設置。

2012 平成24年

- 1月** 厚生労働省東北厚生局へ復旧・復興相談。特養利用者4次避難。(グループホーム2か所への分散生活) 宮城県より復興計画に対し国が基本的に認めた旨の連絡があった。
- 2月** マリンホーム等の解体作業開始。
- 3月** 岩沼市三軒茶屋西土地地区画整理組合に土地購入依頼書を提出。以後覚書を締結。仮換地地権者に関する説明会を実施。仮換地地権者と土地の売買契約を締結。
- 4月** 岩沼市と防災集団移転の有無について協議。
- 6月** 宮城県と復旧・復興の図面について協議。被災した建物の滅失登記完了。岩沼市三軒茶屋西土地地区画整理組合と保留地の売買契約締結。
- 7月** 設計管理契約締結。地域説明会を開催。
- 8月** 東北厚生局において激甚災害査定を受ける。
- 10月** 保留地契約。建設予定地すべての土地の契約が完了。
- 11月** 入札公告掲載。福祉貸付資金借入申込。
- 12月** 入札実施。株式会社ピーエス三菱が落札。株式会社ピーエス三菱と請負契約締結。地鎮祭並びに安全祈願祭を実施。

東日本大震災の概要

1 地震の概況等

(1) 発生日時 平成23年3月11日(金) 14時46分
(2) 震央地名 三陸沖 (北緯38.1度、東経142.8度 牡鹿半島の東約130km)
(3) 震源の深さ 約24km
(4) 規模 マグニチュード9.0
(5) 最大震度 震度6強 長周期大地震
(6) 津波 10.5m (宮城県土木部調べ) 東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループの実施した津波痕跡調査により、岩沼海浜緑地公園において、10.5mを確認。国土調査地理院の調査により地盤沈下47cm。7.2m (仙台湾) ※(平成23年4月5日気象庁発表) 8.6以上 (石巻市鮎川) (平成23年6月3日気象庁発表) ※津波観測施設のデータ解析による (平成23年6月3日気象庁発表) ※参考:「東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ」による推定

南三陸町志津川 15.9m 女川漁港 14.8m
南三陸町歌津 14.7m
浸水面積 (県内327km²)

2 被害の状況等 (平成24年4月30日現在、(3)被害額の概要は4月10日現在)

(1) 人的被害 (継続調査中)
迅速な避難により人的被害なし
避難利用者 マリンホーム長期入所者 46名 短期入所者 11名
利用者 33名
ほほえみ荘 利用者 6名
マリンホーム 利用者 23名
くるまつ荘 利用者 10名
ほほえみ荘 4名
地域包括支援センター 3名
介護支援センター 2名
グループホーム相野釜 2名
日清医療食品社員 4名
利用者 96名 職員48名 計 144名は、仙台空港に避難
岩沼市の死亡181名 (平成23年7月12日現在)

(2) 建物等
特別養護老人ホーム赤井江マリンホーム全壊
短期入所棟 (フルーツハウス) 全壊
デイサービスセンターくるまつ荘 全壊
デイサービスセンターほほえみ荘 全壊
マリンホーム介護支援センター 全壊
マリンホーム地域包括支援センター 全壊
認知症高齢者グループホーム相野釜 (建設中) 全壊
公用車 13台流失

(3) 被害額の概要
建物 約5億円
備品 約1億円

被災した事業所の運営状況

- **特別養護老人ホーム 赤井江マリンホーム**
現在は、当法人が運営する事業所(朝日サポートセンター・グループホームあぶくま)2か所に分散したかたちで、生活を送っている状況です。再建までの間新規の入所受入および短期入所の受入は出来ない状況です。
- **岩沼市デイサービスセンター くるまつ荘**
震災による建物全壊により休止中
- **マリンホーム 介護支援センター**
震災後も事業継続。平成24年1月からは仮設事務所にて移転
- **岩沼市デイサービスセンター ほほえみ荘**
震災による建物全壊により休止中
- **マリンホーム 地域包括支援センター**
震災後も事業継続。平成24年1月からは仮設事務所にて移転

社会福祉法人ライフケア赤井江

～ 特養を中心とした複合施設の復興を目指して ～

復興計画

復興方針の基本理念

当法人は岩沼市の高齢者福祉の発展と共に歩み、地域の方々、家族、職員、その他関係各位の協力と共に今日に至っております。
ついでに、災害復興にあたり当法人の基本理念「心ふれあう・やすらぎの理想郷」の復興のため「共に歩む」を復興理念とし、次に掲げる各基本理念に基づき、実効性・現実性のある計画を策定し災害復興に取り組むものである。

復興ビジョン



施設機能の回復

- ・総合的な福祉事業所の復旧による高齢者福祉事業の継続
- ・地域コミュニティの再生
- ・複数階層の建物構築・避難場所の確保

復興に向けた基本方針

- 施設機能の回復については、当法人の基幹施設である特別養護老人ホームの復興が不可欠でありまた、同一敷地内で事業展開をしていた短期入所生活介護、通所介護、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、認知症高齢者グループホームと多種にわたる事業運営を行っていたことから、特養を中心とした福祉拠点の復興が最重要である。
- 復興場所については、災害時の対策・地域コミュニティの維持の双方の観点から、現地以外の新たな場所への復興計画を行うものである。
- なお、災害時の対策とし複数階層の建物の構築・避難場所(交流スペース等)の確保を踏まえ復興計画を策定する。

先進的な高齢者福祉の役割

- ・非常災害時の高齢者の方々の地域拠点の整備をふまえた復興

復興に向けた基本方針

- 今後の災害に備え、中長期化する高齢者の方々の避難所生活を円滑に維持するための役割を担うべく、体制・諸設備の確保を図る。

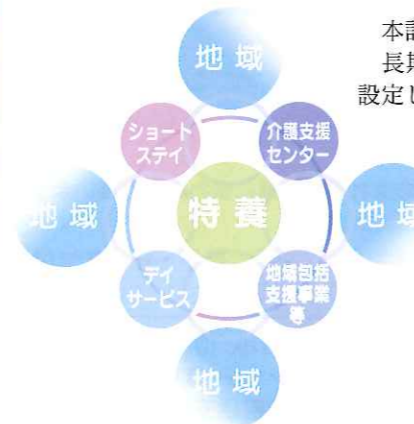
安心できる施設の構築

- ・経験と実績をいかした災害対策の強化
- ・国、県、市、地域、関係諸団体等の積極的な協力体制の確立
- ・自立型エネルギーの整備

復興に向けた基本方針

- 今後の災害に備え、本災害での教訓・防災対応の検証に基づき、防災計画の充実化及び見直しを図る。
- 災害では、長期停電により通信機能の障害が、災害対応に支障をきたしたことから、通信機能設備の構築並びに、自治体等の連絡体制の構築。孤立化した際における自立型エネルギーの確保を図る。

復興方針で想定する計画期間



本計画の計画期間は、平成23年度から平成25年度までの概ね3年間を示唆しています。長期・短期的な視点に立ち基本理念を実現するため、復旧期・基盤整備期・本格復興期を設定し、スピード感を持って各種事業に取り組みます。

平成23年度												平成24年度												平成25年度											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
復旧期 (7ヶ月) 復興事業や復興に向けた事業の準備期間												基盤整備期 (10ヶ月) 施設基盤の再建・整備の時間												本格復興期 (15ヶ月) 整備された基盤に基づき価値を高める時期											